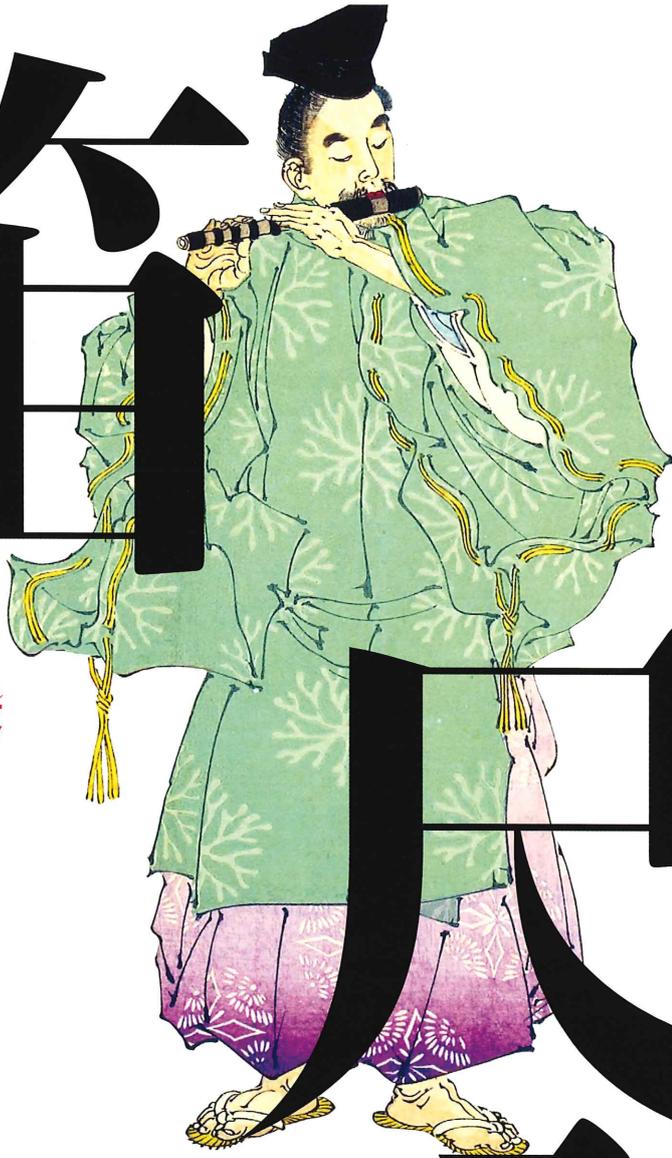


国立劇場開場55周年記念

日本音楽の流れ

令和3年10月邦楽公演

笛



【尺八本曲】

大和調子

明暗真法流 瀧落

地無し尺八 志村禅保

【実演・解説】

尺八のさまざま

野村峰山(尺八奏者)

森重行敏

【三曲】作曲=宮城道雄

虫の武蔵野

箏 遠藤千晶

三絃 上條妙子

尺八 藤原道山

【現代曲】新作委嘱初演 作曲=権代敦彦

IN THE END WAS THE WORD

～終わりに言葉があった～

龍笛 八木千暁・伊崎善之・野護元

篠笛・能管 鳳聲晴久・加藤俊彦・澄川武史

尺八長管 元永拓・小濱明人・田嶋謙一

尺八短管 神令・川村葵山・黒田鈴尊

オルガン 大平健介

声 斎藤説成

【雅楽】

管絃 胡飲酒

十二音会(雅楽演奏団体)

【実演・解説】

笛のさまざま

西川浩平(笛奏者)

森重行敏(洗足学園音楽大学客員教授)

【能楽】

一管 真ノ音取

一調一管 安宅

謡 観世喜正

能管 竹市学

小鼓 吉阪一郎

【長唄】

常磐の庭

唄 杵屋利光・東音味見純・杵屋五太郎

三味線 杵屋五三郎・杵屋五助

上調子 今藤龍市郎

篠笛・能管 福原徹彦

太鼓 藤舎呂英



Fue & Shakuhachi

The History of Japanese Music

新型コロナウイルス感染予防の対策に、
ご理解とご協力をお願いいたします。
詳細はホームページをご覧ください。

東京・半蔵門



国立劇場 小劇場

〒102-8656 東京都千代田区準町4-1 03-3265-7411 (代表) <https://www.ntj.jac.go.jp/>
(左上) 月岡芳年「つきの百姿 嵯峨野の月」(国立国会図書館蔵)
(右下) 「五代目市川團十郎の曾我五郎」(東京国立博物館蔵) (国立博物館所蔵品統合検索システム) https://collbase.nich.go.jp/collection_item_images/tnm/A-10569-313?locale=ja を加工し作成)

10月9日[土] 午後2時開演

※本公演は休憩がございません。
※字幕表示がございません。

●入場料金(税込・全席指定) = 5,500円 / 学生3,900円 ※障害者の方は2割引です。

●予約開始=8月18日(水)午前10時~ ●窓口販売開始=8月19日(木) (チケット売場 午前10時~午後6時) 窓口販売用は別枠での
お取り置きはございません。

【電話】国立劇場チケットセンター(午前10時~午後6時) 0570-07-9900 03-3230-3000(一部IP電話等)

【インターネット】[国立劇場チケットセンター](#) [検索](#)

National Theatre, Tokyo Presents
The History of Japanese Music
"Fue & Shakuhachi"
October 9, 2021

Booking Opens August 18
Box Office 0570-07-9900 (10:00-18:00)
https://ticket.ntj.jac.go.jp/top_e.htm

令和3年度日本博主催・共催型プロジェクト
主催=文化庁、独立行政法人日本芸術文化振興会
協力=浜松市楽器博物館



JAPAN
CULTURAL
EXPO



beyond
2020

日本の伝統楽器に注目し、歴史的な変遷とともにその音楽の魅力を紹介する「日本音楽の流れ」。毎回ご好評をいただいている本シリーズでは、これまで箏・琵琶・三味線に焦点を当ててまいりました。今回特集するのは、日本の吹く楽器「笛・尺八」です。昨年開催が見込まれていた内容の振替公演として実施します。雅楽、能楽、長唄、尺八本曲、三曲、現代曲といった幅広い分野の演奏を通じて、各音楽の魅力と楽器の特色をお楽しみいただければ幸いです。また実演解説では、普段は見ることのない貴重な楽器もご紹介いたします。カメラ映像を用いた演出もあります。ご期待ください。

雅楽 胡飲酒

笛や尺八は古代、雅楽とともに日本に伝来しました。現在は三種類の笛が雅楽で用いられていますが、ここでは唐楽の「龍笛」を演奏します。「胡飲酒」は乱声や序破など変化に富んだ曲で、龍笛と笙や篳篥が鮮やかな音色を奏でます。

実演・解説 尺八のさまごま

日本には横笛、縦笛ともに豊富な種類が存在します。ここでは代表的な楽器とともに石笛や神楽笛など珍しい楽器もご紹介いたします。

能楽 真ノ音取 安宅

能楽を二管や一管でお聴きいただく、その音楽的な魅力を存分に味わうことができます。なかでも「能管」は力強い旋律に特徴があり、神霊の登場を誘う「真ノ音取」や延年の舞を披露する「安宅」にはその魅力が凝集しています。

長唄 常磐の庭

長唄の囃子には様々な管楽器があり、「能管」や情趣ある響きを奏でる「篠笛」が用いられます。「常磐の庭」は、四季の移ろいと松の常緑を称えた曲です。変化に富んだ旋律のなかに、楽器の特色がよく表されています。

尺八本曲 大和調子 瀧落

江戸時代、禅宗の一派・普化宗の僧侶は尺八を吹いて修養したとされ、その幽遠な響きには深い精神性が込められています。今回は特別に江戸時代に製作された「地無し尺八」を用いて、緩急強弱変化に富んだ古典本曲「大和調子」「瀧落」を奏します。

実演・解説 尺八のさまごま

一節切や天吹、正倉院尺八など貴重な尺八をご覧に入れます。楽器の持ち方や吹き方など具体的な奏法をわかりやすい解説で解き明かします。

三曲 虫の武蔵野

明治期以降「尺八」は広く箏や三味線と合奏されるようになりました。「虫の武蔵野」は昭和七年に作曲され、秋夜の虫遊びの様子を描いています。冒頭には宮廷貴族を象徴して筆策の旋律が取り入れられるなど、随所に風雅を誘う工夫が凝らされています。

現代曲 IN THE END WAS THE WORD

管楽器は、その単純な構造ゆえ、微妙な息の強弱やそのタイミングで、音の表情や色彩が変化します。新作では、多様な笛・尺八に加え、オルガンや声明と合奏することで吹く楽器の本質に迫ります。「息」「声」「言葉」が織り成す意欲作にご期待ください。

日本音楽の流れ IV



高麗笛※
龍笛
能管
神楽笛※
篠笛
石笛※

※を付したものは解説でのみ使用します。

令和3年
10月9日 土 午後2時開演 (午後5時終演予定)
※字幕表示がございます。※本公演は休憩がございます。

●入場料金 (税込・全席指定) 5,500円/学生 3,900円
※障害者の方は2割引です。また、車椅子用スペースがございます。詳細はチケットセンターまでお問い合わせください。※出演者などの変更の場合はご了承ください。

●予約開始=8月18日(水) 午前10時～ [電話] 国立劇場チケットセンター(午前10時～午後6時)
国立劇場チケットセンター 検索 **0570-07-9900** 03-3230-3000 (一部IP電話等)

●窓口販売開始=8月19日(木) (チケット売場 午前10時～午後6時) ※窓口販売用は別枠でのお取り置きはございません。

●プレイガイド=チケットぴあ 0570-02-9999 <https://t.pia.jp/>

国立劇場託児室
この公演は託児サービスをご利用いただけます。料金は(税込):[0～1歳]2,200円/[2～12歳]1,100円
事前のご予約をお願いします。(現在、受け入れ人数を制限しております) 0120-788-222 (平日午前10時～12時、午後1時～5時) <http://www.mothers-inc.co.jp/>

ご来場されるお客様へのお願い

- ご入場の際、サーモグラフィによる検温を行います。発熱等の症状がある場合、入場をご遠慮いただけます。
- 客席、ロビー等での会話、舞台への掛け声等はご遠慮ください。
- 手洗いと手指消毒にご協力ください。
- 劇場バスの運行は中止しております。
- 列にお並びの際は、他のお客様との間隔を空けてください。
- 必ずマスクを着用願います。ワクチン接種済みの方もマスクを着用ください。
- 出演者へのプレゼント、入り待ち、出待ち、楽屋見舞い等はご遠慮ください。

東京・半蔵門
国立劇場 小劇場 千代田区隼町4-1
03-3265-7411 (代表)
<https://www.ntj.jac.go.jp/>